

|  |  |  |                                       |   |       |
|--|--|--|---------------------------------------|---|-------|
| 長岡工業高等専門学校   |  | 開講年度                                       | 令和03年度 (2021年度)                       | 授業科目  | 欧米文化論 |
| 科目基礎情報   |  |  |                                       |   |       |
| 科目番号   | 0005   | 科目区分                                       | 一般 / 選択                               |   |       |
| 授業形態   | 講義   | 単位の種別と単位数                                  | 学修単位: 2                               |   |       |
| 開設学科   | 専攻科一般科目  | 対象学年                                       | 専1                                    |   |       |
| 開設期  | 後期   | 週時間数                                       | 2                                     |   |       |
| 教科書/教材   | 初回授業時にテキストを示す。適宜、課題資料を配付する。  |  |                                       |   |       |
| 担当教員   | 土田 泰子  |  |                                       |   |       |
| 到達目標   |  |  |                                       |   |       |
| <p>(科目コード: A0150, 英語名: Western Culture)</p> <p>この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。<br/>この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。<br/>①アメリカ文学について、作品と文化的背景を批評的に分析する35%(B1)・(B3)・(B4)<br/>②イギリス文学について、作品と文化的背景を批評的に分析する35%(B1)・(B3)・(B4)<br/>③欧米文化に関して分析・考察したことについて発表する30%(B1)・(B3)・(B4)<br/>本科目は第3学期・第4学期に実施する。</p> |  |  |                                       |   |       |
| ルーブリック   |  |  |                                       |   |       |
|  | 理想的な到達レベルの目安   | 標準的な到達レベルの目安                               | 最低限の到達レベルの目安                          | 未到達レベルの目安   |       |
| アメリカ文学に関する検討   | アメリカ文学について、作品と文化的背景を、独自の視点から批評的な分析を詳細にすることができる。  | アメリカ文学について、作品と文化的背景を批評的に分析することができる。        | アメリカ文学について、作品と文化的背景を批評的に分析することが概ねできる。 | 左記に達していない。  |       |
| イギリス文学に関する検討   | イギリス文学について、作品と文化的背景を、独自の視点から批評的な分析を詳細にすることができる。  | イギリス文学について、作品と文化的背景を批評的に分析することができる。        | イギリス文学について、作品と文化的背景を批評的に分析することが概ねできる。 | 左記に達していない。  |       |
| 欧米文化に関する考察   | 欧米文化に関して、独自の視点から分析・考察したことについて詳細に発表することができる。  | 欧米文化に関して分析・考察したことについて発表することができる。           | 欧米文化に関して分析・考察したことについて発表することが概ねできる。    | 左記に達していない。  |       |
| 学科の到達目標項目との関係  |  |  |                                       |   |       |
| 教育方法等  |  |  |                                       |   |       |
| 概要   | <p>欧米の文学作品は、単に英語で書かれているというだけでなく、作品を通して文化や社会など多くの要素を含んでいる。この科目では欧米の文学作品を題材として、著者と作品の関係性や文化的背景について学ぶことで知識を深め、批評的に分析する視点を獲得する。</p> <p>○関連する科目: 総合英語(前期履修)、実用英語(次年度履修)</p> |  |                                       |   |       |
| 授業の進め方・方法  | <p>課題となる原書文献について事前に十分に内容を理解し、授業ではグループでの話し合い等により多面的な視点から文献を検討すること。議論に主体的に参加し、積極的に発言をすること。この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習としてレポート課題などを実施します。</p>                                   |  |                                       |   |       |
| 注意点  | 特になし。  |  |                                       |   |       |
| 授業の属性・履修上の区分   |  |  |                                       |   |       |
| <input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング   |  | <input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用 |                                       | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応                         |       |
| <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業  |  |  |                                       |   |       |
| 授業計画   |  |  |                                       |   |       |
|  | 週  | 授業内容                                       | 週ごとの到達目標                              |   |       |
| 後期   | 3rdQ   | 1週   | 概要説明<br>アメリカ文学に関する文献の紹介               | 課題となる原書文献について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>次回授業で取り扱う作品講読を課題とする。 |       |
|  |  | 2週   | アメリカ文学に関する文献講読と検討(1)                  | 課題となる原書文献について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>次回授業で取り扱う作品講読を課題とする。 |       |
|  |  | 3週   | アメリカ文学に関する文献講読と検討(2)                  | 課題となる原書文献について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>次回授業で取り扱う作品講読を課題とする。 |       |
|  |  | 4週   | アメリカ文学に関する文献講読と検討(3)                  | 課題となる原書文献について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>次回授業で取り扱う作品講読を課題とする。 |       |
|  |  | 5週   | アメリカ文学に関する文献講読と検討(4)                  | 課題となる原書文献について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>次回授業で行う発表準備を課題とする。   |       |
|  |  | 6週   | アメリカ文学に関する文献講読と検討(5)                  | 課題となる原書文献について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>次回授業で行う発表準備を課題とする。   |       |
|  |  | 7週   | アメリカ文学の作家と作品、社会について発表(1)              | アメリカ文学について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>アメリカ文学に関するレポートを作成する。    |       |
|  |  | 8週   | アメリカ文学の作家と作品、社会について発表(2)              | アメリカ文学について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>次回授業で取り扱う作品講読を課題とする。    |       |
|  | 4thQ   | 9週   | イギリス文学に関する文献講読と検討(1)                  | 課題となる原書文献について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>次回授業で取り扱う作品講読を課題とする。 |       |
|  |  | 10週  | イギリス文学に関する文献講読と検討(2)                  | 課題となる原書文献について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>次回授業で取り扱う作品講読を課題とする。 |       |

|  |  |     |                          |  |
|--|--|-----|--------------------------|--|
|  |  | 11週 | イギリス文学に関する文献講読と検討（3）     | 課題となる原書文献について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>次回授業で取り扱う作品講読を課題とする。  |
|  |  | 12週 | イギリス文学に関する文献講読と検討（4）     | 課題となる原書文献について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>次回授業で取り扱う作品講読を課題とする。  |
|  |  | 13週 | イギリス文学に関する文献講読と検討（5）     | イギリス文学について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>次回授業で行う発表準備を課題とする。       |
|  |  | 14週 | イギリス文学の作家と作品、社会について発表（1） | イギリス文学について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>イギリス文学に関するレポートを作成する。     |
|  |  | 15週 | イギリス文学の作家と作品、社会について発表（2） | イギリス文学について、批評的な視点から分析・発表を行う。<br>イギリス文学に関する発表の振り返りを課題とする。 |
|  |  | 16週 | 発展授業                     | 授業の振り返りを行う。  |

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類    |         | 分野 | 学習内容        | 学習内容の到達目標  | 到達レベル | 授業週  |
|-------|---------|----|-------------|--|-------|--|
| 基礎的能力 | 人文・社会科学 | 英語 | 英語運用能力の基礎固め | 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 | 4     | 後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16 |

### 評価割合

|         | 試験 | レポート | 発表 | 態度 | ポートフォリオ | その他 | 合計  |
|---------|----|------|----|----|---------|-----|-----|
| 総合評価割合  | 0  | 70   | 20 | 10 | 0       | 0   | 100 |
| 基礎的能力   | 0  | 70   | 10 | 0  | 0       | 0   | 80  |
| 専門的能力   | 0  | 0    | 0  | 0  | 0       | 0   | 0   |
| 分野横断的能力 | 0  | 0    | 10 | 10 | 0       | 0   | 20  |